

諏訪湖クラブニュース

NO. 44 2025年7月

もくじ

- 所感 沖野 外輝夫
- 令和7年度諏訪湖クラブ定期総会
- 環境倫理と地域活動 鬼頭 秀一
- 日本クリーンアセス様より寄付金を頂きました
- 「新時代の諏訪湖へ」～諏訪湖浄化の35年 その今とこれから～
- 沖野外輝夫会長 第32回信毎賞受賞 おめでとうございます
- 信毎賞受賞者 (諏訪地域、自然界)
- 信毎賞正賞 ブロンズ像「耀く」
- 岡谷郷土学習館 令和7年度市民講座 諏訪湖に学ぶ
- 湖沼水環境保全に関する自治体連携 各湖沼の比較
- 岡谷南部中学校総合的学習(地域学習)を実施しました
- 理事会報告



オオヨシキリ

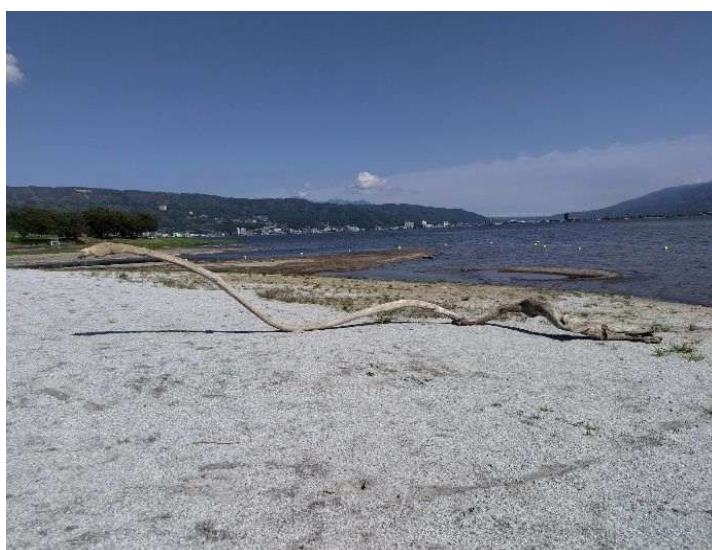
巻頭 所感

沖野外輝夫

長野県諏訪市に移り住んで 52 年目を迎えました。出生地は東京都文京区本郷曙町という所です。戦後は杉並、世田谷、大田と転々と居を移し、父親の退職後に建てた自宅は狛江市でした。高校を卒業後は狛江市に住み続け、信州大学に奉職、諏訪市に住民票を移したのは 36 歳の時でしたから、東京よりも諏訪市での生活の方がはるかに長くなっています。知人の数も今では諏訪地域の人の方が生まれ故郷の東京よりも遥かに多く、心地よく毎日を過ごしています。

諏訪に来て時折聞かれたことは、「それをして本当にきれいになるの?」という問でした。正解は「分からない」でしょうが、何時も答は「やることさえあれば、きれいになります」でした。内心では「きれいにならなければ、その時は夜逃げするしかないか」とひやひやしていました。幸いにして、西暦 2000 年頃、下水道の接続率が 80%を超えるころには、見た目にも水質の改善が目に見えるようになりました。「これで夜逃げせずに済む」と「ほっとした」ことです。

そして今年、令和7年7月4日、信濃毎日文化事業財団による「信毎賞」授与式が長野市の国際ホテル21で行われました。この授賞は、一昨年来の諏訪湖クラブ会員諸氏のご努力と諏訪圏域に住まわれる多くの人たちの理解と行動、そして、行政の諏訪湖改善事業に携わる関係者全員の努力と行動に対する評価と受け止めています。これからも第二の故郷の住人として楽しく暮らしていきたいと願っています。



砥川河口右岸に広がる砂浜に竜に似た流木

令和 7 年度 諏訪湖クラブ通常総会

令和 7 年 (2025 年) 6 月 1 日 (日)

諏訪市駅前テラス

すわっチャオ会議室 3

令和 7 年度 諏訪湖クラブ通常総会 次第

1. 開 会 15:00
2. 会長挨拶 沖野外輝夫
3. 総会成立宣言 出席者 20 名 委任状 23 名 計 43 名
正会員 79 名の 1/5 16 名
4. 議 事
 - (1) 第 1 号議案 令和 6 年度 事業報告
 - (2) 第 2 号議案 令和 6 年度 会計報告
〈会計監査報告〉 …承認
 - (3) 第 3 号議案 令和 7 年度 事業計画 (案) …承認
 - (4) 第 4 号議案 令和 7 年度 予算 (案) …承認
 - (5) 第 5 号議案 令和 7・8 年度役員 (案) …承認
 - (6) その他
5. 議長退任
6. 記念講演 16:05~16:55
演題 「環境倫理と地域活動」
講師 東京大学名誉教授 鬼頭 秀一さん
7. 閉 会 17:00
懇親会 零石にて

諏訪湖クラブ会則

第 19 条 総会の招集については開催の 2 週間前までに、日時、場所および会議に付議すべき事項を適当な方法によって会員に通知しなければならない。

第 20 条 総会は正会員の 5 分 1 以上の出席がなければ成立しない。ただし総会に出席できない正会員で第 19 条によって通知された事項の議決を、他の出席会員に委任した者及び書面によって議決に参加した者は出席者とみなす。

第 21 条 総会の議決は出席者の過半数の同意による。可否同数の時は、議長の決するところによる。

【第 1 号議案】

令和 6 年度 活動報告

◆令和 6 年 4 月 1 日 (土)

諏訪湖周サイクリングロード全線開通

諏訪湖環境研究センターが横河川河口左岸に開設

◆令和 6 年 4 月 14 日 (日) 午前 9 時～ 諏訪湖 (下諏訪町高浜湾沖合)

武田信玄石棺の調査

企画；京都宮帯出版社の社長宮下玄覇(はるまさ)

特集：「武田信玄の石棺」の執筆を沖野外輝夫会長がたのまれていることから調査についても
沖野会長が相談を受けている。

参加者 宮帯出版社 社長宮下玄覇、ダイバー 6 人、沖野外輝夫

作業に必要な台船は小松土木が受け実施

特に武田信玄の石棺に繋がるものは発見できなかった

◆令和 6 年 4 月 21 日(日) 午前 10 時～ スマートレイク事務所

諏訪湖クラブ理事会

諏訪湖クラブニュース 39 号発刊 A4、20 ページ

◆令和 6 年 5 月 28 日 (火) 午後 1 時 30 分～ 諏訪湖環境研究センター

第 12 回諏訪湖創生ビジョン推進会議

参加 73 名

あいさつ 会長 沖野外輝夫 この 4 月に開所した諏訪湖環境研究センターに期待
田辺皇子所長からセンターの役割について説明

信州デザインセンター竹内利宗コーディネーターから「まちづくり」の事例発表

◆令和 6 年 6 月 2 日 (日) 午前中 天竜川他現地にて

全国一斉水質調査 天竜川他 沖野、宮原、高木、田代

諏訪湖・天竜川、木曾川、奈良井川水系約 30 地点を担当しています。

◆令和 6 年 6 月 2 日 (日) 午後 3 時～ 諏訪駅前交流テラス すわチャオ

諏訪湖クラブ令和 6 年度定期総会

参加出席者 20 名、委任状 15 名 正会員 77 名 1/5 以上で成立

令和 5 年度事業及び会計報告 承認

令和 6 年度事業計画、予算 承認

諏訪湖創生ビジョン推進会議運営の協力 諏訪湖通信発行支援

WG への参加 諏訪湖のしゅんせつ WG 他 5 の事業に参加している

令和 6 年度元気づくり支援金事業総額 731,780 円 支援金 585,000 円決定

冊子「諏訪湖の魚介類」/「諏訪の大地誕生」/「諏訪湖は鳥の宝庫」/「蚕糸業とカイコの生態」

自然エネルギー活用計画の推進

諏訪圏域まちづくり計画の支援

その他 豊かな湖を取り戻す「自治体連携・茨城・長野・

滋賀・鳥取・島根」の推進活動他

記念講演；カイコと日本と私たち一歴史と研究の視点から一

講師；九州大学名誉教授 伴野 豊



カイコの成虫

◆令和6年6月8日(土)

冊子「チャリティーウォーク記念誌」が届く

A4 カラー 92ページ 60冊作成

配付 JALT 45冊 諏訪湖クラブ 15冊 執筆者に配布

諏訪湖クラブホームページに掲載

長野県立図書館より寄贈の依頼があり送付

後日 礼状が届く



◆令和6年6月23日(日) 8時15分 下諏訪町

諏訪湖トライアスロン大会

参加者 全国から820名 ボランティア活動に1,300人

諏訪湖クラブはボランティアとして参加

参加; 宮坂平馬、高木保夫ご夫婦、八幡義雄、田辺鈴代

場所 茅野市本町

◆令和6年6月23日(日) 諏訪湖石彫公園

セントルイス姉妹都市提携50周年記念モニュメント設置

参加 金子ゆかり市長、高木保夫(諏訪国際交流協会会長)

諏訪国際交流協会副会長で石材業の藤森慶一さんが50周年記念として鉄平石製の記念碑を寄贈した。



姉妹都市提携50周年の記念碑を除幕し、写真に収まる諏訪市や諏訪国際交流協会、セントルイス市の関係者

◆令和6年7月4日(木) 午後1時30分~ 八ヶ岳美術館

林正敏蔵の鳥類標本2,400点の展示会にて記念講演

記念講演; 私にとっての標本と先人の偉業

講師; 林正敏(日本野鳥の会名誉諏訪支部長)

日時 令和6年7月4日(木) 午後1時30分~

参加 沖野、高木、八幡

開催期間 令和6年6月8日(土)~7月7日(日)

展示品; 鳥類標本 約2,400点、各種鳥卵 約670点、

なお、展示された標本類は国立科学博物館に寄贈されます。

期間中に千人を超える方が見学に来られ盛況でした。



林正敏氏の講演の様子

◆令和6年8月13日(火) 午後1時00分~ 釜口水門

東京社会科研究会諏訪探求会

【テーマ】自ら問いを持ちながら、諏訪地域の魅力を探検する

出席者 東京社会科研究会会員8名

会長 石上和宏 元全国中学校社会科教育研究会会長 顧問 宇野彰人 事務局 後藤賢

担当 中島博文(茅野市北部中学校教諭)

案内 諏訪湖クラブ 八幡義雄、高木保夫

◆令和6年9月3日(火) 午後3時~ 諏訪湖研究センター

高村典子センター長と意見交換会

参加 高村典子、田辺皇子

諏訪湖クラブ 沖野、井上、高木、八幡
意見交換；諏訪湖の生物の多様性とどう向き合うか

◆令和6年9月29日(日) 諏訪湖環境研究センター

諏訪湖の日フォーラム

諏訪湖環境研究センターの紹介 高村典子センター長
講演；静岡大学准教授、生物学者 加藤英明
演題；「諏訪湖の未来を考えよう」

・諏訪二葉高校吹奏楽部/岡谷工業高校環境化学科生徒/おバカツインズ

◆令和6年10月4日(金) 諏訪合庁

フジクリーン工業(株)広報誌

「水の話」諏訪湖特集に関する取材

取材内容；広報誌「水に話」に諏訪湖の取り組みを
掲載したい

6～8ページくらい 水にまつわる話、諏訪湖の自然他



砥川の河口には渡り鳥がやってくる

◆令和6年10月20日(日)

諏訪湖クラブニュース 41号発刊 A4、8ページ

所感 沖野外輝夫

夏の諏訪巡検 東京社会科授業研究会

伊能忠敬が1809年に中山道の測量を実施し下諏訪宿に宿泊

中山道の歴史 和宮様の御降嫁

令和3年の下馬沢の土石流を水位計が事前に察知していた

沢筋に水位計を設置は防災に繋がる

チャリティー・ウォークの20周年記念植樹が？

◆令和6年10月25日(金) 10時～原村役場

冊子「世紀を超えた鳥類標本」贈呈式

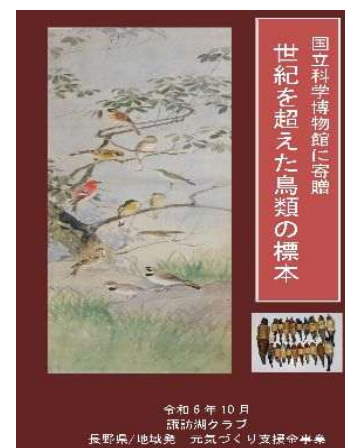
参加；牛山村長、八ヶ岳美術館館長小泉悦夫

沖野外輝夫、林正敏、八幡義雄

内容；A4サイズカラー、20ページ、印刷1,500冊 費用50,830円

元気づくり支援金補助4/5

配布先；諏訪郡市図書館、小中学校他



冊子の表紙

◆令和6年11月27日(水)～29日(金) 岡谷市林正敏氏宅

国立科学博物館による鳥類の標本約3,000点を運び出し

訪れたのは科博動物研究部(つくば市) 西海功研究主幹他

◆令和6年12月4日 諏訪合同庁舎会議室

参加；霞ヶ浦市民協会関係者A班7名

諏訪地域振興局 諏訪湖クラブ 沖野会長、井上、高木、八幡

・霞ヶ浦市民協会の取り組み

学び（情報）の発信について 霞ヶ浦学講座（例年 4～10 講座程度）や湖上体験スクール 等を
市民団体協力の元、センターで実施している

◆令和 6 年 12 月 7 日（日）午前 10 時～11 時 諏訪湖漁業組合事務所

茨城県霞ヶ浦市民協会と意見交換会

参加；霞ヶ浦市民協会関係者 B 班 7 名

諏訪湖クラブ 沖野外輝夫、井上祥一郎、
高木保夫、八幡義雄、宮坂平馬

・諏訪湖の浄化の取り組みなどについて意見交換会



意見交換会の様子

◆令和 7 年 2 月 2 日(日) 午後 1 時～4 時 30 分 茨城県土浦市

霞ヶ浦環境科学センター

シンポジウム諏訪湖と市民活動

講演：湖沼の環境保全における住民活動の役割 ～諏訪湖を事例として

講師：沖野 外輝夫

事例発表 井上 祥一郎 八幡 義雄

リモート参加；諏訪地域振興局企画振興課 大林 輝圭

会場となった霞ヶ浦環境科学センターは霞ヶ浦西湖を見おろす

高台にある立派な施設で建設費 43 億円

パネル展示が充実し学習室などに子供のグループが来て

プランクトンを顕微鏡でのぞいていました。

第 2 部 パネルディスカッション

司会 茨城大学農学部教授 黒田 久雄氏

事例発表

- (1) 認定 NPO 穴塚の自然と歴史の会理事長 森本信生氏
- (2) ほこたグローバルブランディング 代表 大曾根 政幸氏
- (3) 土浦の自然を守る会 会長 萩原富司氏
- (4) 水戸市環境保全会議 会長 高梁正道氏
- (5) (一社) 霞ヶ浦市民協会 理事長 市村和男氏



開催リーフレット



沖野外輝夫会長の講演の様子

◆令和7年2月3日(月)

岡谷市内の小学生4人が研究報告

長地小学校5年八並（はちなみ）伸之介さんの「蚕と天蚕を死なせずに絹糸を取る方法を考える」の研究で全国児童才能開発コンテスト科学部門で文部科学大臣賞を昨年に引き続き受賞しました。

繭のゆでる温度を40度以下に保つことで繭からさなぎを取り出し羽化させることに成功した。繭からさなぎを取り出しカイコのガの姿まで見ることができると、カイコを育てる喜びを知ってもらいたいと話した。

八並さんは諏訪青陵高校公開講座の伴野豊さん（諏訪湖クラブ）の講演にも来てくれたそうです。



長野日報掲載記事

◆令和7年2月7日(金) 午後4時30分

岡谷市長贈呈式

冊子・諏訪のことをもっと知ろう「諏訪の大地誕生」

・日本の近代化を支えた「蚕糸業とカイコについて学ぼう」

参加 早出岡谷市長 宮坂教育長

諏訪湖クラブ 沖野 外輝夫会長

伴野 豊（九州大学名誉教授）

八幡義雄 高木保夫

元岡谷教育長 北澤 和男

(1) 冊子「日本の近代化を支えた蚕糸業とカイコについて学ぼう」

発行 令和7年1月 諏訪湖クラブ

編集 伴野 豊

仕様 A4サイズカラー版 32ページ

印刷部数 3,500部

配布先 諏訪地域内小学校・中学校

諏訪湖アダプト協力者、諏訪地域内図書館他

冊子の内容

- ・蚕糸業とカイコ
- ・蚕糸業と日本の近代化
- ・カイコを育ててみよう
- ・育てた繭の活用法

(2) 冊子「諏訪の大地誕生」を作成・印刷発刊

発行 令和7年1月 諏訪湖クラブ

編集 北澤 和男

仕様 A4サイズカラー版 24ページ



長野日報掲載記事



冊子の表紙

印刷部数 3,500部

配布先 諏訪地域内小学校・中学校

諏訪湖アダプト協力者、諏訪地域内図書館他

冊子の内容

- ・ 諏訪の基盤岩の「ふるさと」と「日本列島の誕生」は？
- ・ 中央構造線・フォッサマグナはどのように形成されたの？
- ・ 諏訪の火山活動はどのように変遷してきたの？
- ・ 諏訪盆地・諏訪湖は「いつからどのように」形成された
- ・ 盆地周辺の新しい活断層は？

◆令和7年2月27日(木)

諏訪湖クラブの取り組みが信濃毎日新聞に掲載される



信濃新聞社掲載記事 2月27日

本の題名	編集者	印刷数
オオワシの記録	林 正敏	6,000
諏訪湖水生植物	沖野 外輝夫	6,000
釜口水門の歴史	八幡 義雄	6,000
水の学習	田代 幸雄	5,000
鳥類標本	林 正敏	1,500
カイコの	伴野 豊	3,500
諏訪の大地誕生	北澤 和男	3,500
諏訪湖の漁業	沖野 外輝夫	6,000
諏訪湖の野鳥	林 正敏	6,000
合計		43,500

◆令和7年2月27日(木) 諏訪湖環境研究センター

諏訪湖研究連絡会 (仮称)

参加；諏訪湖クラブ 沖野、宮原

県内外の研究機関の研究者が一堂に会して諏訪湖を中心とする研究内容の発表・共有をする場を設けた。パネル展示もあり約5時間今後研究機関相互の連携をしながら、相互の研究や施策を効果的に進めていくことにつなげたい。

◆令和7年3月4日(火) 諏訪合同庁舎

第3回目の水草対策ワーキンググループが開催された

◆令和7年3月18日(火) 1時30分～ 諏訪市役所4階 教育長室

冊子の贈呈式

出席者；諏訪市三輪教育長他

諏訪湖クラブ；会長 沖野外輝夫、林正敏、八幡義雄

長野県「地域発元気づくり支援金事業」

冊子(1)「諏訪湖の漁業と魚たち」を作成・印刷発刊

発刊 令和7年3月 諏訪湖クラブ
 編集 沖野 外輝夫 八幡 義雄
 仕様 A4サイズカラー版 36ページ
 字の大きさ12ポ 間隔20ポ ルビ付き
 印刷部数 6,000部 諏訪市小中学校 862冊
 配布先 諏訪地域内小学校・中学校
 諏訪湖アダプト協力者、諏訪地域内図書館他

冊子(2)「諏訪湖の鳥、周辺の鳥」を作成・印刷発刊

発刊 令和7年3月 諏訪湖クラブ
 編集 林 正敏
 仕様 A4サイズカラー版 28ページ
 字の大きさ12ポ 間隔20ポ ルビ付き
 印刷部数 6,000部
 配布先 諏訪地域内小学校・中学校
 諏訪湖アダプト協力者、諏訪地域内図書館他



◆令和7年3月21日

元気づくり支援金実績報告書提出

事業名；諏訪湖に学ぶ 事業費 766,855円 元気づくり支援金 585,000円

◆令和7年3月29日 岡谷市花岡第二船着場

ナノバブル「弁天」説明会開催

参加 宮坂、高木、八幡

◆令和7年4月20日(日)

諏訪湖クラブ理事会にてニュース43号発刊 A4、16ページ

(株)日本クリーンアセス様が諏訪湖クラブに30万円を寄付
 諏訪湖クラブは感謝状を

◆令和7年4月25日(金) 午後7時～8時

長野放送のNBSフォーカス∞信州に「新時代の諏訪湖へ」が放映される

会長沖野外輝夫インタビューを受ける

3月16日(日)の諏訪湖クラブ理事会の様子が紹介された

令和 6 年度諏訪湖通信の発行 第 70 号～第 81 号 12 回

「諏訪湖通信 1 号」は平成 30 年 7 月 20 日発行です。毎月 20 日頃をめどに発行しています。

諏訪湖クラブは沖野外輝夫会長と八幡理事が制作スタッフとして参加しています。

諏訪湖通信に取り上げられた内容

号	月	内 容	備 考
70	令和 6 年 4 月 22 日	諏訪湖のしゅんせつ勉強会開催 諏訪湖環境研究センターが開設されました ^{*1} 諏訪湖安全祈願神事が開かれました	沖野外輝夫、宮原裕一参加
71	5 月 20 日	諏訪湖サイクリングロード全線開通による記念式典 諏訪市湖畔公園で「植樹祭」を開催しました 春季クリーンウォーク・第 1 回上川アダプトプログラムを実施しました	
72	6 月 20 日	第 12 回諏訪湖創生ビジョン推進会議開催 SUWA×文楽 2024「諏訪湖ステージ」無料公演の実現に向けて 令和 5 年度諏訪湖の水質（速報値）がまとまりました	
73	7 月 22 日	諏訪湖発！「湖上プロレス」開催 こどもの夢実現に向け人工なぎさ（岡谷市湊）を再整備しました トリアスロン 2024 大会開催 「プレミアム諏訪湖サイクリングツアー」開催	
74	8 月 20 日	水辺で乾杯 in 諏訪湖 2024 開催 手作業によるヒシ除去作業四日間で延べ 209 名参加 水産試験場諏訪支場で夏休み特別開放に参加しました 第 76 回諏訪湖祭湖上花火大会開催	
75	9 月 20 日	阿部知事と共田県議らが諏訪湖を遊泳しました 諏訪湖の日ガイドブックを発行しました 水草（ヒシとクロモ）の様子について 2024 クリーンレイク諏訪ふれあいまつり開催	
76	10 月 21 日	諏訪湖の日フォーラム 2024 開催 諏訪湖の日に初島神社祭が行われました（初島神社奉賛会）	
77	11 月 21 日	諏訪湖の日プロジェクト太陽工業×SDGs＝諏訪湖の日 【プロキング】開催 世界に届け SUWAKO モニュメント	
78	12 月 20 日	釣り仕掛けによるカワウ捕獲作戦を試行 テンホウ・フーズより諏訪湖創生事業に対するご寄付を頂きました 諏訪湖まるまるゴミ調査が行われました	
79	令和 7 年 1 月 20 日	霞ヶ浦市民協会との意見交換を行いました ^{*2} 諏訪湖の水草たい肥を全国へ 令和 6 年度諏訪湖の水草除去の状況	※2 諏訪湖クラブ参加
80	2 月 20 日	諏訪湖における持続可能な漁業振興に係る WG 開催 いばらぎ湖沼市民会議 諏訪湖の市民活動環境保全と緩やかな連携を考える/会場土浦市 ^{*3} カモ類の生息調査を実施しました	※3 参加、沖野、井上、八幡 諏訪湖クラブ寄稿
81	3 月 19 日	諏訪湖の水辺アクティビティ推進に向けて勉強会開催 諏訪地域の野鳥にかかる講演を拝聴しました 諏訪湖研究連絡会（仮称）が開催されました 第 4 回諏訪湖の水草対策 WG が開催	

なお、諏訪湖創生ビジョン推進会議に関する行事には推進会議スタッフとして参加しています

令和 6 年度諏訪湖クラブニュースの発行

<p>39号 令和 6 年 4 月発行</p>	<p>あいさつ 沖野外輝夫 令和 5 年度諏訪湖クラブ活動記録 令和 5 年度地域発元気づくり支援金事業の概要 地域発元気づくり支援金事業「諏訪湖に学ぶ」3 ヶ年計画 湖沼水環境保全に関する自治体連携と諏訪湖創生ビジョン 監事；井上祥一郎 林正敏蔵・鳥類標本 2,400 点他を国立科学博物館に寄贈 諏訪湖周サイクリングロードの橋梁整備 県道岡谷茅野線の大型車規制始まる 理事；八幡義雄 「国民森林会議とわたし」理事；高木保夫</p>	<p>20 ページ 印刷 150 冊 15,390 円 郵送費他 8,133 円</p>
<p>40号 令和 6 年 7 月発行</p>	<p>所感 沖野外輝夫 諏訪湖クラブ令和 6 年度通常総会報告 カイコと日本と私たち-歴史と研究の視点から- 伴野 豊 諏訪湖に沈められたといわれている武田信玄の石棺 諏訪湖トライアスロン・ボランティアに参加して セントルイス姉妹都市締結 50 周年記念モニュメント設置 林正敏氏所蔵野鳥標本の展示会開催 冊子「諏訪湖チャリティー・ウォーク記念誌」作成 諏訪湖クラブ新会員の紹介</p>	<p>24 ページ 印刷 170 冊 20,430 円 郵送費他 8,460 円</p>
<p>特別号</p>	<p>① 諏訪湖チャリティーウォーク記録誌作成 92 ページ 60 部 33,040 円 クラブ負担 15,000 円 JALT 寄付▲5,300 円 諏訪湖クラブ負担 9,700 円 ②諏訪湖の水溶性植物 諏訪親友会負担 ▲5,790 円</p>	<p>印刷負担金 3,910 円 輸送費 6,365 円</p>
<p>41号 令和 6 年 10 月発行</p>	<p>所感 沖野外輝夫 夏の諏訪巡検 東京社会科授業研究会 伊能忠敬が 1809 年に中山道の測量を実施し下諏訪宿に宿泊 中山道の歴史 和宮様の御降嫁 令和 3 年の下馬沢の土石流を水位計が事前に察知していた 沢筋に水位計を設置は防災に繋がる チャリティー・ウォークの 20 周年記念植樹が？</p>	<p>8 ページ 印刷 150 冊 5,940 円 郵送費他 12,324 円</p>
<p>42号 令和 7 年 1 月発行</p>	<p>所感 沖野 外輝夫 令和 6 年度の諏訪湖クラブの取り組み 令和 6 年度元気づくり支援金事業 冊子「日本の近代化を支えた蚕糸業とカイコについて学ぼう」 冊子「諏訪の大地誕生」 北澤 和男 信州大学諏訪臨湖実験所の活動 宮原 祐一 姉妹都市アメリカセントルイス市を訪れて 高木 保夫 「湖沼水環境保全に関する自治体連携」をサポートする 水の特集「水の話」フジグリーン工業(株) シンポジウム「諏訪湖と市民活動」開催 諏訪湖の詩から一滴の吐き&スケッチ、思い～ 藤田 ます 野鳥のためのエサ台を作って野鳥を呼ぼう 八幡 義雄 湖南小学校から見た朝日の昇る位置と時間 八幡 義雄</p>	<p>16 ページ 印刷 180 冊 14,210 円 郵送費他 26,330 円</p>
<p>合計</p>	<p>令和 6 年度予算案 印刷代 60,000 円 (年 4 回) 事務費 30,000 円 通信費 40,000 円 計 130,000 円</p>	<p>印刷代 59,880 円 郵送費他 61,612 円 計 121,492 円</p>

【第2号議案】

令和6年度 会計報告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日まで)

<収入の部>

単位:円

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
前期繰越金	298,427	298,427	0	前期度よりの繰越金
会費	198,000	192,000	△ 6,000	正会員 64名分
元気づくり支援金	585,000	585,000		
雑収入	3	22,016	22,013	親友会、JULT
合計	1,081,430	1,097,443	16,013	

<支出の部>

科目	予算額	決算額	比較増減	備考	
元気づくり支援金による冊子づくり	731,780	766,855		クラブ負担金766,855-585,000=181,855	
事業費	諏訪湖保全	100,000	15,840	△ 84,160	クリーンプロジェクト、諏訪湖の日
	自然エネルギー	5,000	0	△ 5,000	
	まちづくり	5,000	0	△ 5,000	
	大会・総会費	10,000	8,200	△ 1,800	会場費、講師謝礼
	小計	120,000	24,040	△ 95,960	
事務経費	事務費 事務委託費	30,000	10,000	△ 20,000	HP管理料 ビーチュー
	印刷代	150,000	62,094	△ 87,906	諏訪湖クラブニュース印刷代
	通信費	5,000	31,853	26,853	郵送料・はがき代・振込手数料
	その他	40,000	41,300	1,300	負担金:NPOスマートレイク賛助年会費 31,300円 美しい環境づくり諏訪地域推進会議会費 10,000円
	小計	225,000	145,247	△ 79,753	
合計	1,076,780	936,142	△ 140,638		

収支差額	-4,650	161,301	165,951	次期繰越金
------	--------	---------	---------	-------

令和6年度 諏訪湖クラブ監査報告

令和6年度 諏訪湖クラブ会計決算について、監査の結果、収入・支出には不適切なくかつ帳簿の整理および証票書類の保管状況も良好であると認めたので報告します。

令和7年 5月 30日
監事 官坂平馬

ただし、元気づくり支援金通帳未確認、元気づくり支援金3/3支払の別帳内訳未確認です。
また、一般会計、特別会計、元気づくり支援金の3本の通帳をみりまのり、元金簿に7/11の繰越金、入金、出金、残高の表を付するようお願いします。

【第3号議案】

令和7年度 活動計画 (案)

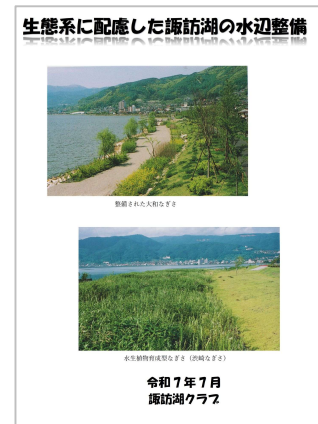
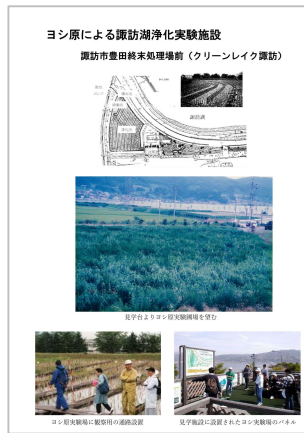
1. 令和7年度総会の開催 (令和7年6月1日3時00分～諏訪市駅前交流テラス「すわっチャオ」)
2. 定例理事会の開催 (原則として毎月第3日曜日、拡大理事会として開催)
3. プロジェクト活動

1) 諏訪湖保全研究・事業

- ・ 諏訪湖創生ビジョン推進会議への参加、運営への協力 (推進会議事務局に参加)
- ・ 「諏訪湖通信」の作成・発行1回/月 令和7年4月21日発行82号
- ・ 全国一斉水質調査/令和7年6月1日(日) (諏訪湖流入河川他 天竜川で30地点)
- ・ 「諏訪湖底層貧酸素化対策」調査・研究
- ・ 諏訪湖淡水シジミ復活作戦への協力、支援
- ・ 一般向け諏訪湖読本「散歩しながら諏訪湖に学ぶ」の続編の企画、編集
冊子「ヨシ原による諏訪湖浄化実験施設」制作
冊子「生態系に配慮した諏訪湖の水辺整備」制作
学習会「諏訪湖に学ぶ」用パンフレット制作



諏訪湖通信 82号



- ・ 諏訪湖に関するWGへの参加 (諏訪湖クラブが関係しているWG)
 - (1) 諏訪湖のしゅんせつ課題WG
 - ・ 砥川河口部しゅんせつに水鳥の配慮
 - ・ 流入河川の河口部のしゅんせつ (上川、武井田川他)
 - (2) 諏訪湖の水草対策WG
 - ・ ヒシに替わる水草対策 (沈水植物のクロモ、エビモ)
 - (3) 諏訪湖における持続可能な漁業振興WG
 - ・ 冊子「諏訪湖の魚介類」の作成、漁業の歴史
 - (4) 諏訪湖周自転車活用推進会議WG
 - ・ 砥川、十四瀬川、横河川河口の自転車用橋梁架設の要望
- ・ 天竜川流域土砂総合管理計画に協力 (上流部会検討委員会委員)

2) 自然エネルギー活用計画の推進

- ・「信州ネット SUWA」活動への協力
- ・地産地消事業/環境保全型農業への支援

3) 諏訪圏域まちづくり計画への支援

- ・美しい環境づくり諏訪地域推進会議への協力（運営委員）
- ・諏訪湖トリアスロンのボランティア活動に参加
- ・諏訪市環境審議会への協力
- ・「諏訪市女声ネットの会」、「諏訪市いきいき市民推進チーム・輝く SUWA」等の活動に協力
- ・すわまちクラブ活動への協力
- ・(国) 信州大学、諏訪湖臨湖実験場の研究活動に協力
- ・すわ防災ネットワーク活動への協力【防災】
- ・(公) 諏訪東京理科大学の研究活動に協力、諏訪市西山地区の土石流防災システム他【防災】
- ・諏訪圏工業メッセへの協力
- ・その他会員の諏訪圏域まちづくり計画への支援 下水道の市民科学（井上祥一郎氏）

4. 講座、講演会、環境事業の開催と支援

- ・岡谷郷土学習館市民講座 6/14 諏訪湖に学ぶ（沖野、八幡） 7/12 諏訪湖水生植物（沖野）
8/9 治水に繋がる釜口水門（八幡）
- ・散歩しながら諏訪湖に学ぶ ; 諏訪湖周を歩き諏訪湖に関する学習会を開催 諏訪市石彫公園
→釜口水門 帰路は船で（白鳥丸） 講師：諏訪湖クラブ会員
- ・5/29 岡谷南部中防災学習会【防災】
- ・6/2 岡谷北部中学学習会「諏訪湖の漁業」
- ・諏訪湖環境保全セミナー、講演会等の開催（他団体との協働）

5. 会報の発行とホームページの充実

- ・諏訪湖クラブニュースの発行 4回/年 令和7年1月に42号、
4月に43号発行、7月に44号、10月に45号、令和8年1月に46号発行予定
- ・ホームページの充実と活用

○令和6年度に掲載された冊子

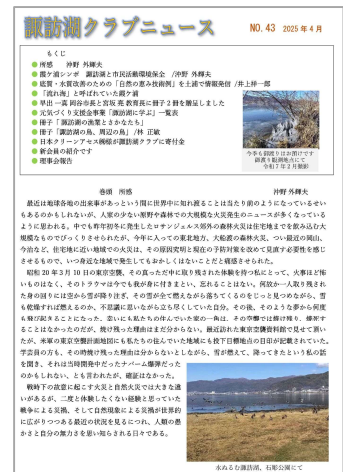
- (1) 冊子/日本の近代化を支えた蚕糸・カイコについて
 - (2) 冊子/諏訪の大地誕生
 - (3) 冊子/諏訪湖の漁業とさかなたち
 - (4) 冊子/諏訪湖の鳥・周辺の鳥
- 諏訪湖クラブニュース 1号～43号

○令和7年度に掲載予定

- (1) 諏訪湖クラブニュース 44号～46号
- (2) 諏訪湖クラブのあゆみと諏訪湖水質浄化
- (3) ヨシ原による諏訪湖浄化実験施設
- (4) 生態系に配慮した諏訪湖の水辺整備
- (5) その他 全国一斉水質調査他

6. その他、クラブの目的に沿う事業

豊かな湖を取り戻す「自治体連携（茨城・長野・滋賀・鳥取・島根）」官民共同で推進活動



ニュース 43号

【第4号議案】

令和7年度諏訪湖クラブ予算（案）

（令和7年4月1日～令和8年3月31日まで）

〈収入の部〉

科 目	前年度決算額	予算額	備 考
前期繰越金	298,427	161,301	前年度の繰越金
会費	192,000	195,000	会員65名分
元気づくり支援金	585,000	0	
寄付金他	0	300,000	(株)日本クリーンアセス様
雑収入	22,016	699	銀行利息等
収入合計	1,097,443	657,000	

〈支出の部〉

科 目	前年度決算額	予算額	備 考	
事業費	元気づくり支援金	766,855	0	
	諏訪湖に学ぶ	0	248,820	学習会開催 冊子制作他
	諏訪湖保全	15,840	100,000	自治体連携取材費他
	自然エネルギー	0	5,000	
	まちづくり	0	5,000	
	総会費	8,200	10,000	謝礼他
	小計	790,895	368,820	
事務経費	事務費	10,000	30,000	理事会会場費他、インク代
	印刷代	62,094	60,000	諏訪湖クラブニュース他
	通信費	31,853	40,000	郵送費、ハガキ代、振り込み手数料
	その他	41,300	50,000	各種負担金
	小計	145,247	180,000	
予備費	0	108,180		
支出合計	936,142	657,000		
差引金額	161,301	0		

【第 5 号議案】

令和 7・8 年度 諏訪湖クラブ役員

会 長	沖野 外輝夫
副会長	小林 聖仁、金子 田美、宮原 裕一
専務理事	長崎 政直
理事（庶務・会計）	高木 保夫
理事（広報）	八幡 義雄
理 事	長崎 功
理 事	五味 光一
理 事	鴨志田 明子
理 事	山村 宜男
理 事	市川 純章
理 事	田代 幸雄
監 事	井上 祥一郎、宮坂 平馬
顧 問	鮎沢 光昭、中島 恵理

諏訪湖クラブ総会記念講演 諏訪市駅前交流テラスすわっちゃオ 2025年6月1日(日)15時

環境倫理と地域活動ー里山(さとうみ)としての諏訪湖における関係的価値

鬼頭秀一(諏訪湖クラブ会員 東京大学名誉教授)

1. 里山受難の時代(環境倫理1.0)から里山再評価の時代(環境倫理2.0)へ ー70年代から90年代

1970年代に人間中心主義が問われたー環境倫理学の登場
地球環境問題の出現と「リオ」ー1989年~1992年
東西の緊張緩和の中で「地球環境問題」の出現
先進国主導の地球環境問題の時代
南北問題の認識の出現と先住民族の権利の問題の浮上
社会的公正の問題を認識せずに環境問題の解決はない
リオ・ジャネイロでの地球サミットはそのことを前提に考えていく
最初の一歩だった



2. 里山再評価の時代(環境倫理2.0)の時代の「里山」保全の意味
環境倫理1.0ー1960年代から1992年までの環境問題の理解
人間vs自然、経済vs環境、開発vs保護 二項対立図式、トレードオフ
環境倫理2.0ー1992年以後に環境問題は新しい地平で捉えられるようになった
環境・経済・社会の三極構造
(社会的公正(環境正義)、社会的包摂(ソーシャル・インクルージョン)の重要性)
トレードオフからWinWinへ
「リオ+5」「リオ+10」「リオ+20」・・・(「リオ」が出发点)
「自然的環境」「社会的環境」「精神的環境」の三つの環境の統合

3. SDGsにおける統合的アプローチ SDGsにおける「統合性」「包括性」の重要性

4. 生物多様性保全における「関係的価値」
「自然」と「文化」の深い関係ー「萱場(かやば)」の「自然」と「火入れ」の文化
諏訪地域における「原山」から「霧ヶ峰」の火入れを伴う草原管理
2005年からの霧ヶ峰での実験的火入れ(諏訪市側)2013年の延焼山火事と火入れの中断
2028年の茅野市柏原財産区での最後の火入れ 2023年の山火事
霞ヶ浦妙岐の鼻の萱場での萱刈りと火入れ
2002年以後の考え方=生態系はダイナミックに変動
人間の活動などによる「攪乱」も重要な意味をもつ
人間の適切な管理によって豊かな生物多様性が生まれる
「人間活動の縮小」も生物多様性の危機である
「利用」と「保全」は対立的ではない =保全/利用の二分法の脱却へ

5. 里山保全・再生における「関係的価値」
2020年のIPBES(生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム)
「自然の多様な価値と評価に関する評価報告書」という報告書
「関係的価値」と「遊び仕事」
非市場的領域の重要性
生業活動(産業活動)と遊びの連続性
二次的自然としての里山・里海、そして里湖(さとうみ)~文化的環境=自然の関係性価値~
人間と自然の関係論の射程ー里山と関係的価値
その中での地域活動ー「非市場的な営み」の再評価

6. 「環境倫理3.0」の時代の里山と地域活動ー環境倫理3.0の課題として
共感と信頼に基づく(非市場的領域)経済圏の再構築と地域活動

■ 日本クリーンアセス様より寄付金を頂きました

長野県内の上下水道施設の維持管理業務を行っています 日本クリーンアセス（株）様から諏訪湖クラブの諏訪湖浄化や保全活動などの取組みに賛同をいただき、ご寄付をいただくこととなりました。同社諏訪営業所の所長篠原尚一様より諏訪湖クラブ会長の沖野外輝夫に贈呈式を下記により行いました。

なお、日本クリーンアセス（株）様は、諏訪湖流域下水道（クリーレイク諏訪）の維持管理業務を行っています。

記

- 日 時 令和7年（2025年）4月20日（日） 午前10時から
 - 場 所 スマートレイク事務所 住所：諏訪市清水2丁目1-4
- なお、当日は諏訪湖クラブの特別理事会の開催日です。

環境保全活動の一助に

日本クリーンアセス 諏訪湖クラブに寄付



県内の上下水道施設の維持管理業務を行う日本クリーンアセス（本社・長野市）が、諏訪湖の環境改善に取り組む「諏訪湖クラブ」（沖野外輝夫会長）に30万円を贈った。寄付金贈呈式が20日に諏訪市内で行われ、同社諏訪営業所の篠原尚一所長が沖野会長に目録を手渡した。

↑ 諏訪湖クラブの沖野会長に寄付金の目録を手渡す日本クリーンアセス諏訪営業所の篠原所長（左）

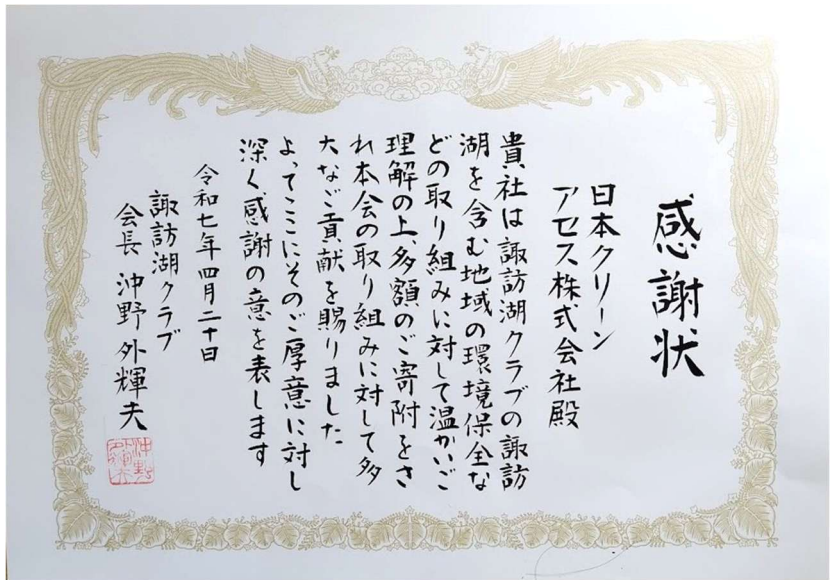
県諏訪湖流域下水道豊田終末処理場（同市）の維持管理にも関わる同社が、諏訪湖浄化や環境保全に取り組む同クラブの活動理念に賛同し、社会貢献の一環として寄付を決めた。篠原所長は「これからの活動の一助にしていきたい」と期待した。

沖野会長は「非常にありがたい。寄付金は、クラブの活動と諏訪湖浄化についての冊子作成のために使わせていただく」と感謝した。

（山本雄太）

長野日報掲載記事

当日はLCVさんも取材されLCVニュースにて放映されました。



お渡しした感謝状



当日の参加者（4月の理事会）

■ 「新時代の諏訪湖へ」 ～諏訪湖浄化の35年 その今とこれから～

かつてのアオコに汚れていた諏訪湖は、どのように潤いのある姿を取り戻したのか。これまでの長野放送の貴重な映像によって浄化の歩みと今を見つめます。

長野放送 NBS フォーカス∞信州（金曜日午後7時からの1時間番組）で諏訪湖クラブを中心とした諏訪湖浄化の取り組みが紹介されました。

放映日時；令和7年（2025年）4月25日（金）

夜7時～ OA 1時間番組

番組のシナリオ

項目
かつての汚れた諏訪湖 1990年頃の諏訪湖
現在の諏訪湖 新たな問題が発生
諏訪湖環境研究 センター発足 2024年4月 横河川河口左岸
諏訪湖浄化の取り組み 下水道事業 1972年
諏訪環境まちづくり懇談会 1989年
信大臨湖実験所 開設 1957年
日独環境まちづくり セミナー開催 1回 1989年 諏訪 2回 1991年 諏訪 3回 1993年 ドイツ 4回 2001年 諏訪
下水道高度処理 1995年
トライアスロン大会 第1回 2022年6月
諏訪湖の水辺整備 1994年マスタープラン

過去の番組から状況の紹介
よみがえれ諏訪湖(1)(2)(3)
水草が語り始めた※
※高柳記念賞を受賞



高村典子センター長 6.23



藤原正男氏 9.34

地域まちづくりの草分け
まち懇初代会長 藤原正男氏



ドイツ下水処理場 13.10

湖沼法の適用により下水道高度
処理を開始

水質基準がクリアー、トライア
スロン開始



新たな問題が発生①ヒシの繁殖
2016年～/②ワカサギの大量死/
③マイクロプラスチック問題

←令和6年4月センター開所式
高村センター長
諏訪湖の浄化は優等生



沖野外輝夫会長 10.26

まちづくりに協力、当時の所長
は沖野外輝夫氏
1984年～1996年

先進地ドイツの水質専門家を招
きセミナー開催
1, 2回目は諏訪で3回目はドイ
ツで開催



人工なぎさの育成 20.25

遠浅の水草帯の復活を目指し
人工なぎさの整備開始

諏訪湖の現在の課題 ヒシの除去作業 ヒシの繁茂 2005年～	突如のワカサギの大量死は関係者にショックを与えた。湖底の泥の分解により貧酸素状態になったのが要因と思われる。	 ヒシの除去作業 26.11
2016年7月ワカサギ大量死	 諏訪湖クラブ理事会 30.50	水質が改善され透明度が上がったため新たにヒシの繁茂が課題。また、沈水植物のクロモ、エビモの繁茂が始まる。
諏訪湖クラブ 会長 沖野外輝夫 毎月第3日曜日 理事会開催	諏訪湖クラブ平成19年発足 諏訪湖浄化に繋がるナノバブル装置 2017年～2018年 学び（地域学）として9冊作成 諏訪の小中学校に49,000部配布	 諏訪湖環境研究センター 33.15
諏訪湖環境研究センター 水質検査・プランクトンの観察	湖底からマイクロプラスチックの検出が報道された。出前講座	水質検査月に1度3か所で測定 湖上で採水の様子、持ち帰り水質検査やプランクトンの観察
マイクロプラスチック問題 2020年7月	 宮原裕一所長 47.55	水質検査月に1度3か所で測定 湖上で採水の様子、持ち帰り水質検査やプランクトンの観察
諏訪臨湖実験所 自動観測装置 2018年より観測開始	湖底からマイクロプラスチックの検出が報道された。出前講座	←自動観測装置の設置の様子 諏訪湖の最新情報を見ることができる (画像右下数値は経過の分秒)

諏訪湖クラブ新会員小林陽一さんの紹介です。 宜しくお願いします

この春（2025年5月）に入会させていただいた小林陽一と申します。

映像プロダクションで主にテレビ番組の制作を仕事にしており、今年4月25日に、NBS長野放送で1時間のドキュメンタリー番組『新時代の諏訪湖へ～諏訪湖浄化の35年その今とこれから～』を制作・放送しました。去年4月の長野県諏訪湖環境研究センターの開設を機に、長野放送のアーカイブを利用しながら諏訪湖の浄化の歴史を辿り、現在の課題とこれからを展望した番組です。以前から他の番組で取材をさせていただいてきた沖野外輝夫先生の長年の取り組みを顕彰したいというのも番組制作の狙いの1つで、番組の監修もお願いしました。



小林陽一さん

取材の過程で、諏訪湖浄化のために注がれてきた地域の方々の努力を知ることができ、また現在の様々な課題に市民の立場から取り組んでおられる諏訪湖クラブの皆さんに深い敬意を抱きました。長野市在住で、少し離れた場所に暮らしていますが、長野県の水環境保全のシンボルである「諏訪湖」のこれからの共に見つめていきたいと思い、入会のお願いをさせていただいた次第です。

これからも皆さんと一緒に、諏訪湖の環境について勉強させていただき、機会があればまた番組にしてみたいと考えています。 どうぞよろしくお願いいたします。

沖野外輝夫会長 第32回信毎賞受賞内定


第32回信毎賞 2氏1団体に

信濃毎日新聞社と公益財団法人信毎文化事業財団は4日、信毎賞表彰委員会を長野本社で開き、第32回信毎賞を2氏1団体に贈ることを決めました。信濃毎日新聞創刊記念日の前日の7月4日、長野市内で贈呈式を行い、正賞のブロンズ像「耀く」と副賞（100万円）を贈ります。

信毎賞は1993年に創刊120周年を迎えたのを機に94年に創設。文化、社会、産業、医療、スポーツなどの分野で著しい功績を挙げた真関係の個人・団体に贈ります。

第32回の受賞者は次の通りです。（敬称略、順不同）

【受賞者の紹介は21面に】



沖野 外輝夫 (88)

生態学者。信州大名誉教授。アオコの発生原因の解明に取り組み、諏訪湖の水質浄化に向けた対策の基礎を築く。研究者として市民の環境保全活動を支えた。諏訪市在住。



大城 和恵 (57)

医学博士。日本で初めて「国際山岳医」の資格を取得。北海道や北アルプスなどを拠点に山岳医療の普及に取り組み、「山岳医療救助機構」代表。長野市出身。



満蒙開拓平和記念館

戦時中に旧満州（中国東北部）に渡った満蒙開拓団の歴史を伝える資料館。多くの犠牲を生んだ開拓の実態とともに、現地での加害の史実にも向き合う。下伊那郡岡谷村。

生態学者 諏訪湖の水質改善に尽力

沖野 外輝夫さん (88)



共に歩む市民の力を実感

おきの・ときお 1937（昭和12）年、東京都生まれ。東京都立大理学部を卒業後、財団法人資源科学研究所に就職。同大学院博士課程在学中の67年に諏訪湖のアオコ研究を始め、73年に信大理学部付属諏訪湖実験所（諏訪市）の助手となった。84年に同実験所長、2000年に信大理学部長。02年に退官し、07年に市民団体「諏訪湖クラブ」を設立して以降、会長を務める。15年に地域環境保全功労者環境大臣表彰を受けた。

諏訪湖がアオコで覆われていた1970年代から、湖畔の信州大理学部付属諏訪湖実験所を拠点に研究を続け、湖の水質改善に向けて市民と共に歩んできた。かつて「日本一汚い」と言われた湖。アオコの発生は「仕組みを調べ、市民が関心を持たない限り変わらない」と市民を巻き込んだ環境保全活動に尽力した。

臨湖実験所に助手として着任した73年、諏訪湖には100円玉が浮くほど厚いアオコの層ができていた。研究を通じて、工業用排水だけでなく、家庭や農地からの排水に含まれる窒素やリンが、アオコの大発生を生を招く富栄養化の一因であることを提示。浄化対策として下水道整備や住民の協力が不可欠だと訴えた。「住民一人一人が、自分ごととして諏訪湖の汚染に向き合っていく」と。地域の公民館などに講師として出向き、アオコの発生仕組みを広く伝える。一方、近年は水生植物ヒシが大量繁殖し、船の航行への影響などが課題になっている。「ヒシの繁茂もアオコの発生も理由がある。（原因を理解するため）まず湖に目を向け、耳を傾けてほしい」。有志と立ち上げた「諏訪湖クラブ」では2020年以降、諏訪湖について学ぶ冊子を作り続け、地域の学校や図書館に寄贈している。「環境を壊すことは簡単だが、維持するのは大変。諏訪湖を健全に保つため、みんなが関心を持ち続けてほしい」と願う。



信毎賞正賞ブロンズ像

耀く

諏訪市出身で東京芸大卒の彫刻家、細川宗英氏に制作を委嘱。細川氏は新制作協会会員として高村光太郎賞、中原悌二郎賞などを受賞、日本彫刻界で指導的な役割を果たした。1994年死去。「耀く」が最後の作品となった。

(台座を含む高さ52センチ、重さ約7キロ)

信濃毎日新聞 令和7年6月5日掲載記事

■ 沖野外輝夫会長 信毎賞受賞 おめでとうございます

第32回信毎賞の贈呈式が7月4日、長野市のホテル国際21で開かれ、諏訪湖クラブの沖野外輝夫会長（88歳）が受賞対象の2氏1団体の1人として顕彰されました。生態学者として、また市民活動のリーダーとして、かつては「日本一汚い」と酷評された諏訪湖の水質改善に尽力した功績が高い評価を得ました。

正賞のブロンズ像「輝く」と賞状、副賞の100万円を受け取った沖野さんは諏訪への移住から52年、諏訪湖の研究に関わってからだと60年近い歳月を振り返り、「節目となる賞で感謝いたします」と述べました。諏訪湖の浄化は「多くの方々の協力があって今の状態になってきている。賞は諏訪地域全体でいただいたと受け止めている」と話し、「大事なものはこれからです。放っておけば、諏訪湖は元に戻ってしまう」と継続的な活動の重要性を説かれました。

主催者の信濃毎日新聞社からは審査経過について、「沖野さんがいなかったら、今の諏訪湖の浄化はなかった」と激賞された、との説明があり、小坂壮太郎社長はあいさつで「明確な目的意識を持った研究と実践は行政や地域社会にも評価され、市民の支持を得てきました」とたたえました。また、お祝いの言葉を述べた阿部守一県知事は、諏訪湖の浄化に懸ける沖野さんの熱い思いを称賛するとともに、昨年、自ら諏訪湖で泳いだ体験をもとに、「泳げる諏訪湖、泳ぎたくなる諏訪湖に」とエールを送っていました。



第32回 信毎賞贈呈式

2氏1団体を表彰した第32回信毎賞贈呈式＝4日午前11時13分、長野市のホテル国際21

信濃毎日新聞社「信毎文化事業財団」は4日、第32回信毎賞の贈呈式を長野市のホテル国際21で開いた。さまざまな分野で優れた業績を挙げた真関係の個人・団体を顕彰しており、今年は2氏1団体が受賞。小坂壮太郎・信濃毎日新聞社長が正賞のブロンズ像「輝く」と賞状、副賞の100万円を各受賞者に贈った。

【関連記事26面に】受賞したのは、諏訪湖の水質改善に尽力した生態学者で、信州大名普教授の沖野外輝夫さん（88）＝諏訪市、日本人初の「国際山岳医」として山岳医療の普及に取り組む大城和恵さん（58）＝長野市出身、満蒙開拓団の歴史を伝える満蒙開拓団の歴史を伝える満蒙開拓平和記念館（下伊那郡阿部市）に

贈呈式には表彰委員会の阿部守一知事ら約100人が出席。沖野さんは「諏訪湖の浄化は1人でやったものではなく、多くの人が協力して今の状態になった。諏訪地域全体で賞をもらったということになればいいかな」と思っている。大城さんはビデオメッセージで「受賞は温かい激励を受け止めている。山岳医療が日本や国際社会で歩を進めていけるよう一層尽力していく」と述べ、満蒙開拓平和記念館の寺沢秀文館長（71）は「受賞を励みとし、二度と悲しい犠牲者が出なくなる国や時代にならないようがんばってきたい」と意気込みを語った。

小坂社長は、それぞれの功績を称え「今後も郷土のためにならぬことを願っています」と語り、阿部知事は「受賞者には、これからも諏訪湖の浄化に尽力してほしい」とエールを送った。

信濃毎日新聞社「信毎文化事業財団」は4日、第32回信毎賞の贈呈式を長野市のホテル国際21で開いた。さまざまな分野で優れた業績を挙げた真関係の個人・団体を顕彰しており、今年は2氏1団体が受賞。小坂壮太郎・信濃毎日新聞社長が正賞のブロンズ像「輝く」と賞状、副賞の100万円を各受賞者に贈った。

【関連記事26面に】受賞したのは、諏訪湖の水質改善に尽力した生態学者で、信州大名普教授の沖野外輝夫さん（88）＝諏訪市、日本人初の「国際山岳医」として山岳医療の普及に取り組む大城和恵さん（58）＝長野市出身、満蒙開拓団の歴史を伝える満蒙開拓団の歴史を伝える満蒙開拓平和記念館（下伊那郡阿部市）に

贈呈式には表彰委員会の阿部守一知事ら約100人が出席。沖野さんは「諏訪湖の浄化は1人でやったものではなく、多くの人が協力して今の状態になった。諏訪地域全体で賞をもらったということになればいいかな」と思っている。大城さんはビデオメッセージで「受賞は温かい激励を受け止めている。山岳医療が日本や国際社会で歩を進めていけるよう一層尽力していく」と述べ、満蒙開拓平和記念館の寺沢秀文館長（71）は「受賞を励みとし、二度と悲しい犠牲者が出なくなる国や時代にならないようがんばってきたい」と意気込みを語った。

小坂社長は、それぞれの功績を称え「今後も郷土のためにならぬことを願っています」と語り、阿部知事は「受賞者には、これからも諏訪湖の浄化に尽力してほしい」とエールを送った。

令和7年7月5日付け信濃毎日新聞掲載記事



沖野外輝夫会長夫婦



第32回信毎賞受賞者及び関係者と長野県阿部知事との記念撮影

信毎賞受賞者 諏訪地域、自然界

回	年	氏名・団体名	内容	諏訪地域	自然界
第32回	令和7年	沖野 外輝夫	アオコ発生原因の解明に取り組み、諏訪湖の水質浄化に向けた対策の基礎を築く。研究者として市民の環境保全活動を支えた	●	●
第31回	令和6年	藤森 照信	建築家・建築史家。建築史の研究を踏まえた独自の魅力にあふれる設計で建築界に影響を与えてきた	●	
第30回	令和5年	山岸 哲	鳥類学者。山階鳥類研究所長などを歴任し、トキやコウノトリなど希少鳥類の繁殖、野生復帰に導いた。		●
第28回	令和3年	原田 泰治	画家。半世紀にわたり、信州や日本各地の「ふるさと」の原風景を描いてきた。諏訪市在住	●	
第26回	令和元年	中村 浩志	絶滅が危ぶまれるライチョウなどの希少な野生動物の生態研究や保護活動に尽力。飯綱町在住		●
第25回	平成30年	NPO諏訪圏ものづくり推進機構	圏域企業を支援するためさまざまな事業を展開し、地域の活性化に貢献	●	
第25回	平成30年	小平 奈緒	平昌五輪のスピードスケート女子500メートルで金メダルを獲得。茅野市出身	●	
第25回	平成30年	高木 菜那	平昌五輪のスピードスケート女子団体追い抜きとマスタートで金メダルを獲得。下諏訪町在住	●	
第24回	平成29年	小平 奈緒	2016～17年シーズンのスピードスケート女子500メートルで出場した15レース全てを制する快挙。茅野氏出身	●	
第18回	平成23年	今井 彰	蝶の歴史・文化的側面から研究。その成果を自宅土蔵を改修した「蝶の民俗館」の展示にも生かす。須坂市在住		●
第17回	平成22年	勝野 重美	水質汚染などで激減した辰野町松尾峡のホタルの保護増殖活動に半世紀にわたって取り組み、町づくりに貢献		●
第17回	平成22年	日本電産サンキョー・スケート部	1957年の創部以来スピードスケートで32人の五輪選手を輩出。2010年バンクーバー五輪でも男子500メートルで長島圭一郎、加藤条治選手が銀、銅メダルを獲得	●	
第9回	平成14年	東南海地震体験者の会	戦時下の昭和19年に発生した東南海地震の諏訪地方における実態調査をし、県内の防災対策に重要な問題提起をした	●	
第9回	平成14年	島崎 洋路	信大教官として現場で林学を指導し、独自の間伐技術を確立。「島崎山林塾」を主宰し、山の職人「山守」の育成に当たる		●
第8回	平成13年	日本野鳥の会諏訪支部	半世紀近く小鳥バスを運行し、野鳥保護に取り組む	●	●
第7回	平成12年	社団法人諏訪交響楽団	日本で最も古いアマチュアオーケストラで地域に根差した演奏活動を継続	●	
第6回	平成11年	長野県植物誌編纂委員会	長野県内に野生する全植物を対象に40万点の資料をデータベース化し、「長野県植物誌」を編纂、出版		●
第5回	平成10年	信州風樹文庫運営委員会	岩波書店発行のすべての著作物を1947年から集積特色ある図書館を住民の手で作成し、地域文化に貢献	●	
第1回	平成6年	中村 恒也	セイコーエプソン取締役相談役製造過程からフロン全廃に尽力	●	

この他 著名な方、団体の受賞

第22回	平成27年	松本山雅FC	サッカーJ1に県内チームとして初めて昇格し、地域活性化に貢献。松本市		
第4回	平成9年	小沢 征爾	指揮者。1992年～松本市で「サイトウ・キネン・フェスティバル」を開くなど音楽文化向上に貢献		
第1回	平成6年	東山 魁夷	日本画家・文化勲章受章者所蔵の全作品を長野県に寄贈、県下の美術文化高揚に貢献		

信毎賞正賞



信毎賞正賞・ブロンズ像
《 耀く（かがやく） 》

作者の故細川宗英（ほそかわ・むねひで）氏は諏訪市出身。東京芸大卒業。新制作協会会員として生命感あふれる作品を次々と発表、高村光太郎賞、中原悌二郎賞などを受賞。わが国彫刻界の指導的役割を果たした。このブロンズ像「耀く」が最後の作品となった。県内で展示されている作品には諏訪湖畔（岡谷市）の「王様と王妃」、美ヶ原自然保護センター前の「空へ」などがある。台座の題字「信毎賞」は日展会員一色白泉（いっしき・はくせん）氏

諏訪湖周辺にある細川宗英氏の作品



①「空へ」細川 宗英 諏訪市湖畔公園
諏訪清陵高校、東京芸術大学卒の彫刻家。主な作品は諏訪市美術館に常設展示がされています。
寄贈；スワロータリークラブ



④「王と王妃」 細川 宗英
岡谷市湖畔公園
寄贈；小口賢一

臨時理事会 沖野外輝夫会長信毎受賞について

令和7年6月15日

(1) 信毎受賞式の前定

7月4日 10時30分～ 長野市ホテル21

受賞者 2氏1団体

沖野外輝夫会長 生態学者、諏訪湖の浄化に向けた対策の基礎を築く

大城和恵さん 「国際山岳医」の資格を取得 山岳医療救助機構代表

満蒙(まんもう)開拓平和祈念館 戦時中に旧満州に渡った満蒙開拓団の歴史を伝える資料館

授賞式出席者 本人他5名 沖野外輝夫氏奥様、小林聖仁さん、八幡義雄、高木保夫、田代幸雄

(2) 信毎受賞の報告及びお礼状

沖野外輝夫会長と推薦人連名で授賞式の写真を入れて7月4日郵送する

事前に準備しておく

(3) 歴代諏訪建設事務所長会に参加して頂き記念講演

例年だと10月～11月

木下所長と日程調整 八幡世話人

7月27日 スマートインター開通式より以降か。できれば諏訪湖クラブの祝賀会前に行いたい

(4) 祝賀会(主催諏訪湖クラブ) まとめ役 八幡、高木、田代

時期 秋頃か

招待客

(5) 諏訪湖湖上学習会 まとめ役;金子田美さん

日時 諏訪湖の日周辺 諏訪市の諏訪湖ウォークに合わせることも可

コース 諏訪市湖畔公園(集合)⇒時計回り又は反時計回り⇒釜口水門⇒白鳥丸乗船

(できれば沖野会長の講演)⇒諏訪市湖畔公園(解散)



【費用】 白鳥丸借り上げ費

学習会用冊子作製 A4サイズ/カラー、16ページ

諏訪湖に学ぶ	冊数	100冊	200冊	300冊
	印刷費用	8,890	16,030	22,210

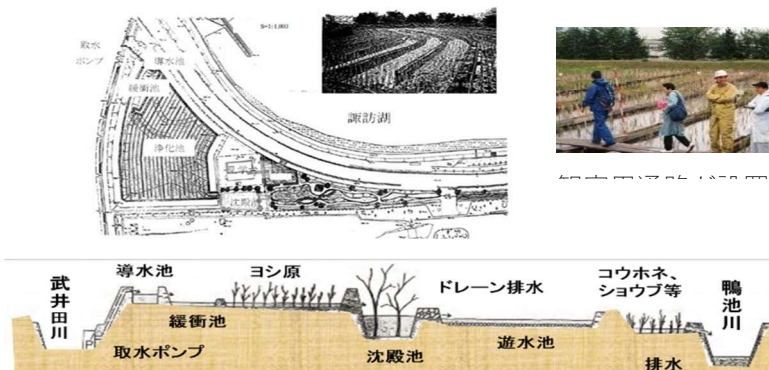
【配布先】

諏訪湖クラブ会員、参加者

(6) 記念誌作成 まとめ役；八幡

① ヒシ原実験圃場の記録：A4 サイズ/カラー 20 ページ

平成6年～平成8年にクリーンレイク諏訪の敷地内で実施



ヨシ原実験圃場の計画図

【印刷費用】

ヨシ原実験圃場の 記録	冊数	300冊	400冊	500冊
	印刷費用	27,560	33,720	34,850

【配布先】

諏訪湖クラブ会員、諏訪地域市町村、諏訪湖創生ビジョン参加者、5県連携関係他

② 諏訪湖の水辺整備の記録 A4 サイズ/カラー縮小版 36 ページ

水辺の整備に携わった歴代の所長に当時のことについて寄稿をお願いする

平成5年～6年 平澤幸雄さん

平成12年～15年 北原正義さん



渋崎なぎさ



大和なぎさ



砥川河口の砂浜

【印刷費用】

諏訪湖の水辺整備 の記録	冊数	300冊	400冊	500冊
	印刷費用	48,690	58,480	62,610

【配布先】

諏訪湖クラブ会員、諏訪地域市町村、諏訪湖創生ビジョン参加者、5県連携関係他

■ 岡谷郷土学習館 令和 7 年度市民講座 諏訪湖に学ぶ

2025 (R7) 年度市民講座 テーマ《諏訪湖に学ぶ》

諏訪湖は古くから地域に住む人々に限りない恵みを与えてきました。一掬いの湖水にも無数の小さな命が宿る諏訪湖、それはお互いに補完し合う命の揺りかごです。

講師 沖野外輝夫先生 信州大学名誉教授 諏訪湖クラブ会長
 八幡義雄先生 元諏訪建設事務所長 諏訪湖クラブ理事
 土木・環境しなの技術支援センター理事

	日 時	講 座 内 容
1	6/14 (土) 13:30~15:00	「諏訪湖に学ぶ」 諏訪湖に生息する魚介類、水性植物はもとより、渡り鳥として諏訪湖にやってくるオオヨシキリなどの夏鳥や、冬にシベリアなどからやってくるコハクチョウ、また、諏訪湖の砥川などの河口で一休みするアジサシなどの旅鳥などにスポットを当て諏訪湖周辺の自然や、広く歴史、美術館なども紹介もしている
2	7/12 (土) 13:30~15:00	「諏訪湖の水溶性植物」昭和 39 年に新産業都市に指定され、産業に力が入れられた。その結果、諏訪湖周辺に多くの企業が立地、諏訪湖の水質が急激に悪化し諏訪湖の一面にアオコが発生した。諏訪湖の浄化につながる下水道の整備などにより水質が改善されたことによりアオコは減少、透明度が改善され、代わりにヒシの繁茂が問題化、この繁茂しているヒシに焦点をあて諏訪湖の水溶性植物がこれからどうなるかを学ぶ。
3	8/9 (土) 13:30~15:00	「諏訪湖の治水に繋がる釜口水門」1594 年に諏訪湖の中に戦に優れた浮き城として高島城の築造された。その後は戦のない時代を迎え、人口を増やすため水田の開墾や頻繁に発生した諏訪湖の浸水被害を減らすための治水事業として釜口水門が建設された。昔の人がいかに水害に立ち向かってきたかの歴史を学ぶ。



講演会の様子

質疑応答

Q1:釜口水門の下段放流は

A1; 初代の釜口水門は下段放流でしたが、アオコやゴミが留まってその対応に苦労した。2代目 →500 トン放流までは上越しとなっていてゲート操作がしやすい構造。

Q2:釜口水門に魚道が設置されたが上れない魚が多い

A2; 流速が4m くらいで設計してあるが、対象はハヤやアユ。コイ、フナは無理かも。

湖沼水環境保全に関する自治体連携をサポート 各湖沼の比較(1)

名称	諏訪湖	野尻湖	霞ヶ浦									
所属の県	長野県	長野県	茨城県・千葉県・栃木県									
関係市町村	諏訪市他 2市1町	信濃町	茨城県土浦市他 11市2町1村									
湖の面積(km ²)	12.81 (24位)	4.55	220 (2位)									
湖周囲(km)	15.9	15.3	249.5									
最大水深(m)	7.2	38.3	7.1									
平均水深(m)	4.7	20.8	4									
貯水量(m ³)	63,000,000	96,000,000	850,000,000									
流入一級河川	上川他 15河川	関川他 11河川	桜川他 5河川									
流出河川	天竜川	池尻川	常陸利根川、利根本川									
流域面積(km ²)	531.8	185.3	2,157									
流域市町村	3市2町1村	2市1町	18市5町1村									
常時満水位(m)	759.245	656.8	0									
滞在日数	39日	738日	220日									
湖沼法適用	1986年10月	1994年10月	1985年12月									
期 年度	8期 R4~R8	7期 R6~R10	8期 R3~R7									
水質目標値	諏訪湖			野尻湖			霞ヶ浦(北浦)					
	項目	目標値R8	現状R3	項目	目標値R5	現状h30	項目	目標値R7	現状R2			
	COD	75%値	4.7	5.5	COD	75%値	2.0	2.1	COD	75%値	8.7	8.7
		平均値	4.0	3.9		平均値	1.9	2.0		平均値	8.2	9.0
全窒素	0.62	0.62	全窒素			全窒素	1.20	1.30				
全リン	現状維持	0.041	全リン	0.005	0.005	全リン	0.12	0.13				
透明度	1.3m以上	1.2m	透明度	6.5m	6.2m	透明度	0.6m	0.6m				
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・H30中長期計画を見据えた諏訪湖創生ビジョン計画策定 ・令和5年度にビジョン見直し ・ワーキンググループ設置、漁業振興、水草対策、しゅんせつ ・諏訪湖環境研究センター開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・S60年代植物プランクトンによる水道水ろ過障害発生 ・S63年淡水赤潮発生 ・令和20年度目指す長期ビジョン みんなの野尻湖、美しい姿を次世代に 	<ul style="list-style-type: none"> ・S40代水質汚濁が進む ・S57霞ヶ浦富栄養化防止に関する条例 ・h19; 霞ヶ浦水質保全条例 ・h20; 森林湖沼環境税を導入 ・R2; 水循環基本計画 									
主な取り組み	<ol style="list-style-type: none"> 1) 水質保全 生活排水対策、下水道設備の推進、貧酸素対策の推進、ヒシ繁茂対策の推進 2) 生態系保全 多様な生物・生息基盤の創出、水生動物の管理 栄養塩類(窒素他)を吸収した水草の除去、ヒシの繁茂の抑制 覆砂(諏訪湖の底に砂を敷き底質を改善)、漁業の振興 3) 湖辺面活用・まちづくり 諏訪湖の水辺整備基本計画 水辺利活用 4) 流出水対策、チッソ成分削減 強化地域として上川、宮川を重点地区に指定、 農地対策 環境に優しい農業の推進 自然地域対策 治山や砂防による汚濁負荷の軽減 5) 調査研究・学びの推進 諏訪湖環境研究センター開所 R6.4、貧酸素対策などの調査・研究 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 水質の保全に関する事業 生活排水対策 廃棄物処理施設の整備 湖沼の浄化対策 2) 水質保全のための規制、措置 工場・事業場排水対策 流出水対策、市街地対策、農地対策、自然地域対策 流出水対策地域の指定 菅川・市川流域他の指定 緑地の保全 自然環境の保全 廃棄物等の適正処理 3) その他、水質保全の措置 公共用水域の水質の監視 調査研究の推進と活用 環境学習の推進、環境保全意識の啓発 地元主導による取り組みの強化 水質汚濁事故への対応 関係地域計画との整合 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 水質保全対策 重点的に水質保全対策実施 生活排水対策 2) 水質保全のための規制 生活排水処理率の向上 農地対策生産性との調和 畜産対策の実施 湖内対策(巴川、鉾田川) 流出水対策; 赤野井湾流域 湖内湖浄化施設ウエットランド 浄化用水導水路事業 エコハーマーの支援 レンコン畑肥料の指導 市街地対策; 雨水排水路の清掃 森林の整備 湖岸の自然環境の再生 3) その他、調査研究 霞ヶ浦環境研究センターと連携した調査研究 アオコ対策の強化 									
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・魚介類21種、魚介類漁獲高の減少 ・ヒシの繁茂 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本初の揚水発電所 ・野尻湖遺跡発掘 ・ナウマンゾウ 	<p>2000年の漁獲量2416トン内ワカサギは51トンと激減した。自然浄化力が低下した。 淡水真珠、135kg売り上げ7億円</p>									
構成団体	諏訪湖クラブ/諏訪湖浄化推進連絡会議/諏訪湖漁業協同組合	野尻湖を親しむプロジェクト	土浦の自然を守る会/霞ヶ浦市民協会/宍塚の自然と歴史の会									

湖沼水環境保全に関する自治体連携をサポート 各湖沼の比較(2)

名称	琵琶湖	中海湖	宍道湖									
所属の県	滋賀県・京都府	島根県・鳥取県	島根県									
関係市町村	大津市他 10市	島根県松江市他 4市	松江市、出雲市 2市									
湖の面積(km ²)	669.26 (1位)	85.68 (5位)	79.1 (7位)									
湖周囲(km)	235.2	105	47									
最大水深(m)	103.58	18.4	6									
平均水深(m)	41.2	8.4	4.5									
貯水量(m ³)	27,500,000,000	470,000,000	360,000,000									
流入一級河川	野洲川他 117河川	大橋川他 20河川	斐伊川他 30河川									
流出河川	瀬田川(淀川水系)	深田川	佐陀川									
流域面積(km ²)	3,848	595	1,288									
流域市町村	13市 6町	4市 5町 1村	3市 12町 1村									
常時満水位(m)	84.731	0	0									
滞在日数	4.7年	0.4年	0.3年									
湖沼法適用	1985年12月	1989年1月	1989年1月									
期	8期 R3~R7	8期 R6~R10	8期 R3~R7									
水質目標値	琵琶湖(南湖)			中海			宍道湖					
	項目	目標値R7	現状R2	項目	目標値R5	現状	項目	目標値R7	現状R2			
	COD	75%値	4.5	5.3	COD	75%値	4.4	4.8	COD	75%値	4.6	5.0
		平均値	3.2	3.5		平均値	3.5	3.6		平均値	4.0	4.4
	全窒素	0.24	0.24	全窒素	0.46	0.55	全窒素	0.47	0.49			
全リン	0.015	0.015	全リン	0.046	0.051	全リン	0.039	0.047				
透明度	南湖2.2m 北湖5.5m	5.5m	1.5m									
計画	<ul style="list-style-type: none"> S55; リンを含む合成洗剤の使用禁止 h5; ラムサール条約 H27琵琶湖環境研究機構設置 H28底層溶存酸素環境基準追加 R3琵琶湖保全再生計画策定 	S48水質汚濁防止法上乗条例 h17; ラムサール条約 長期ビジョン策定(R15目標) 島根県環境政策課に宍道湖・中海対策推進室が設置されている	S49年淡水化を図る中浦水門建設工事開始 h21アオコの発生、シジミの減少により反対運動激しく撤去された h17ラムサール条約									
主な取り組み	1) 水質保全に資する事業の推進 水質保全対策の推進、生活排水対策 良好な水質と豊かな生態系両立 気候変動対策の研究 南湖における水草異常繁茂 草取りたい肥化 湖底の環境改善 マイクロプラスチックの知見 内湖の浄化対策 多自然川づくり 2) 負荷低減対策 畜産業に係る汚濁負荷軽減策 魚業における飼料の適正投与 環境こだわり農業 水すまし構想の取り組み ヨシ群落保全計画 動植物プランクトンの水質監視 3) その他、調査研究 湖沼水環境の保全 環境保全に資する森林づくり 在来魚介類の資源回復	1) 水質の保全に関する事業 生活排水対策 廃棄物処理施設の整備 湖沼の浄化対策 2) 水質保全に繋がる規制 工場・事業所排水対策 畜産業に係る汚濁負荷対策 漁業に係る汚濁負荷対策 3) 流出水対策 米子湾流域 4) その他、調査研究 緑地の保全、自然環境の保護 総合的な流域管理の取り組み 水産資源の利活用による水質保全 ラムサール条約湿地の保全 住民の理解と協力 環境学習及び普及啓発活動	1) 水質の保全に関する事業 生活排水対策 廃棄物処理施設の整備 湖沼の浄化対策 湖内対策の実施 浮遊ごみの監視及び回収 2) 水質保全に繋がる規制 工場・事業所排水対策 畜産業に係る汚濁負荷対策 漁業に係る汚濁負荷対策 3) 流出水対策 農業用排水路の泥上げ 市街地路面、側溝清掃 治山、砂防えん堤の整備 忌部川、山居川流域流出水対策 4) その他、調査研究 緑地の保全、自然環境の保護 総合的な流域管理の取り組み 水産資源の利活用による水質保全 ラムサール条約湿地の保全 住民の理解と協力 環境学習及び普及啓発活動									
自然	構造湖、1月-2月に鉛直方向に混合し水温溶存酸素が一様になる。 魚類66種の固有種、鳥類は140種	日本海に開けた湾が砂州により塞がれた。H17ラムサール条約、ガン、カモ75,000羽。海水の塩分濃度は1/2。平成30年のシジミ漁獲量は3,980トンで、全国の漁獲量の4割以上	h17ラムサール条約。水鳥の飛来地240種、ガン、カモ40,000羽。汽水湖魚種豊富									
構成団体	npoびわ湖トラスト/美しい湖国をつくる会/npoびわ湖環境	中海自然再生協議会/npo自然再生センター/中海の自然環境鳥ネット	宍道湖水環境改善協議会/npo自然再生センター									

■ 岡谷南部中学校 総合的な学習の時間（地域の学習）を実施しました

日時 令和7年5月29日(木)

参加 岡谷南部中学校 3年生 81人 3年職員6名
砂防ボランティア協会 伊藤直喜、八幡義雄

内容 平成18年7月豪雨により発生した土石流で7名、志平沢で1名計8名の方が亡くなる甚大な被害を引き起こした小田井沢で豪雨災害について地域の方からお話を聞いたり、砂防ダムなどを実際に見学したりすることを通して、地域の防災について関心を高める。

行程 岡谷南部中学校発(8:30) ⇒①船魂社/お話 ⇒②小田井沢砂防えん堤/お話 ⇒③災害伝承碑/お話 ⇒岡谷南部中着



①船魂社

下流の被害を少なくした船魂社しだれ桜
平成18年7月豪雨により発生した土石流の一部を食い止め下流の被害を少なくした。翌年花をつけた

②小田井沢1号砂防えん堤

平成18年7月豪雨災害により整備された小田井沢1号えん堤（ダブルウォールえん堤）当時の被害の様子とダブルウォールえん堤の特徴をパネルで説明

③災害伝承碑（小田井沢）

国土地理院が過去の災害を伝える伝承碑を地図に表示する取り組みを令和元年6月より開始。諏訪地域は15カ所・岡谷市は3カ所
小田井沢、志平沢、上野原

ダブルウォールえん堤とは

諏訪地域災害関連緊急砂防事業の砂防えん堤21基の内11基を採用した。
緑化を可能にした自然に優しい構造



ら、2006年「七月

岡谷南部中学校3年生80人は29日、地元湊地区にある小田井沢の

南中3年砂防えん堤を見学

災害の怖さと防災学ぶ



砂防えん堤の重要性を聞く生徒ら

た」と話した。

八幡さんは被災現場の写真や、流出した土砂の量などが書かれた資料などを見せながら当時の状況を説明。災害が起きた現場を見て、学ぶことが「普段の防災意識（を高めるのに）つながる」などと呼びかけた。生徒たちは資料などに載っていないことはノートに書き込みながら、真剣なまなざしを向けた。同地区にある「災害伝承の碑」も見学した。

豪雨によって同所で発生した土石流の被害などについて聞き、災害の恐ろしさや備える大切さを学んだ。防災教育の一環で、23日に同校で開いた講演会に続いて計画。市内に大きな被害をもたらした災害について知り、地域防災に関心を高めてもらうのが狙い。同協会は国や県の元職員ら約500人が所属し、小田井沢の砂防えん堤建設などに県職員として携わったという2人が講師を務めた。

岡谷市民新聞掲載記事

第3回諏訪湖トライアスロン開催

開催されたことは、諏訪湖は水泳が可能な水質の証です。嬉しいことです。

第3回諏訪湖エイトピークスミドルトライアスロンが令和7年6月29日(日)全国から735人がエントリー、気温が31度・3度と真夏並みの厳しい条件の中、開催されました。

コースは88.6km

- ① スイム 1.9km
- ② 自転車 66.2km

諏訪湖と八ヶ岳山麓の高低差約400mの過酷なコースです

- ③ ラン諏訪湖一周 20.5km

記録(男子)

- 1位 葦澤由吏(新潟)3時間44分5秒
- 2位 梅田航平(神奈川)3時間46分2秒
- 3位 浜田裕介(東京)3時間49分7秒

記録(女子)

- 1位 宇治公子(大阪)4時間7分52秒
- 2位 久保埜南(東京)4時間13分25秒
- 3位 中園真里亜(東京)4時間25分47秒

ボランティア活動として参加しました



上川右岸堤防を力走する参加選手

諏訪湖クラブからボランティア活動として高木夫妻、八幡、宮坂、山村、田辺さんが上川右岸堤防の諏訪市水道局～諏訪合同庁舎間の区間の交通整理を担当、元気を頂きました。



「鉄人700人白熱」 ミドルトライアスロン 諏訪湖・八ヶ岳に挑む



トライアスロン最初の種目スイム。合図とともに諏訪湖に飛び込み、力強く泳ぎ始める選手たち

諏訪6市町村を巡る「スワロコエリート」ミドルトライアスロン2025は29日、諏訪湖と八ヶ岳山麓を舞台とする88.6kmスイム・90kmバイク・66.2kmランの20.5kmのコースで行われた。2025年の初開催から目玉となる今年は、全国35都府県からの735人がエントリー、長野地方気象台によるとこの日の諏訪湖は最高気温31・3度と真夏並みの厳しい暑さとなったが、鍛え抜いた「鉄人」たちは諏訪湖地方全域を力強く駆け抜けた。「杉本哲也」15面に関連記事

諏訪6市町村、商工農林所 競争から脱落した。商工会、長野日報社、日本今年は無事まで逃げ切るとトライアスロン連合でつくる腹をくくった。逃がれぬコースだが、その分やがて女子は前回の宇治公子さん(48)・大阪府真市さんが4時間14分52秒で初優勝。フコエトビックスは3回全に出場しているという。湖

から山々まで絶景を誇るのがこの大会の魅力。リベンジには考えなかったが、レースを止めたのが驚いた話だと喜んでいて、

大会は約1000人のトライアスロン愛好者や関係者、観客の応援で盛り上がる。大会を応援する方々も、大会の魅力を伝えるのがこの大会の魅力。リベンジには考えなかったが、レースを止めたのが驚いた話だと喜んでいて、

▽男子 ①葦澤由吏 3時間44分5秒
②梅田航平 3時間46分2秒
③浜田裕介 3時間49分7秒
▽女子 ①宇治公子 4時間7分52秒
②久保埜南 4時間13分25秒
③中園真里亜 4時間25分47秒

長野日報 6月30日掲載記事

理事会報告

第 171 回 令和 7 年 4 月 20 日 (日) 午前 10 時 00 分～

場所：スマートレイク事務所

出席者：沖野、金子、井上、田代、山村、市川、鴨志田、池田、高木、八幡、鬼頭 11 人

1. 日本クリーンアセス(株) 諏訪湖クラブに寄付金 10 万円
篠原諏訪営業所長↓沖野会長 感謝状→篠原氏
2. 諏訪湖クラブ定期総会
講演；鬼頭秀一氏 環境倫理学と地域
3. 諏訪湖クラブニュース 43 号発行
4. 元気づくり支援金事業 令和 3.5.6 年度
冊子①「日本の近代化を支えた蚕糸業とカイコ学ぼう」
②「諏訪の大地誕生」配布
総額 2,317 千円 支援金 1,683 千円
冊子 9 冊 紙芝居 1 部 印刷数 49,760 冊
令和 8 年度申請に向け原稿準備
冊子「諏訪湖についてもっと知ろう
・諏訪湖プランクトン」
「諏訪湖の水質浄化の取り組み」
5. 五湖連携
井上さん茨城県土浦に拠点づくり
6. 水の学習
その他. 小鳥バス 5 月の毎週日曜日(予約制)

第 172 回 令和 7 年 5 月 18 日 (日) 午前 10 時 00 分～

場所：スマートレイク事務所

出席者：沖野、長崎政、井上、八幡、田代、金子、鬼頭、田辺、池田、高木 10 人

1. 学術会議法人化法案
軍事研究に繋がった 原子物理学 仁科芳雄
2 月 2 日(日)午後 1 時～4 時 30 分
2. 諏訪市と小学校で水循環、水質保全について勉強会
6/10 (火) 中州小学校にて教師との調整会議
6/11 (水) 四賀小学校にて教師との調整会議
3. 五湖連携

第 173 回 令和 7 年 6 月 15 日 (日) 午前 10 時 00 分～

場所：スマートレイク事務所

出席者：沖野、八幡、田代、金子、宮原、鬼頭、山村、長崎政、池田、宮坂、北原、林、山田、北原

1. 諏訪湖クラブ定期総会について (報告)
2. 4/25 長野放送フォーカス∞信州放映
3. 岡谷郷土学習館令和 7 年度市民講座 年 3 回
6/14 散歩しながら諏訪湖に学ぶ
講師；沖野外輝夫会長
7/12 諏訪湖の水生植物の変遷 沖野 外輝夫
8/9 諏訪湖の治水に繋がる釜口水門 八幡 義雄
4. 第 3 回諏訪湖トリアスロン 6 月 29 日(日)開催
ボランティア活動 諏訪市水道局～諏訪合庁
5. 沖野 外輝夫信毎賞受賞について 別途報告 p24

【お詫び】 43 号 p14 の池田昌子さんのペンネームの藤田ますさんを前田ますさんと間違えてしまいました。お詫び申し上げます

諏訪湖クラブニュース No.44 号 令和 7 年 7 月号

企画・編集・発行 諏訪湖クラブ事務局

発行人；沖野 外輝夫 TEL/FAX 0266-58-0490

E-mail e-suwa-info@lake.gr.jp

<https://suwako-club.com/about.html>

編集人；八幡 義雄

次号 45 号は令和 7 年 10 月の理事会で発行予定です

事務局日誌 令和 7 年 4 月～

- 4/1 環境研究センター調査船購入
- 4/17 水の学習/長地小学校 4 年
- 4/20 諏訪湖クラブ理事会
- 4/20 クラブニュース 43 号発行
日本クリーンアセス寄付金
- 4/21 諏訪湖通信 82 号発行
- 5/4 塩嶺小鳥バス始まる
- 5/18 諏訪湖クラブ理事会
- 5/20 諏訪湖創生ビジョン打ち合
- 5/20 諏訪湖通信 83 号発行
- 5/28 諏訪湖創生ビジョン推進会議
- 6/1 全国一斉河川水質検査
- 6/1 諏訪湖クラブ定期総会
- 6/2 岡谷北部中「さかなを学ぶ」
- 6/4 沖野会長信毎賞受賞新聞に掲載
- 6/4-5 全国臨湖所長会議
- 6/10 水の学習 中洲小学校打合せ
- 6/11 水の学習 四賀小学校打合せ
- 6/14 岡谷郷土学習館講演(1)
- 6/15 臨時理事会開催
- 6/18 水草対策 WG 開催
- 6/20 諏訪湖通信 84 号発行
- 6/29 第 3 回諏訪湖トリアスロン
- 7/4 第 33 回信毎賞授賞式
- 7/5 諏訪臨湖実験所一般公開
- 7/10 諏訪市中洲小学校/水の学習
- 7/11 岡谷市長地小学校/水の学習
- 7/12 岡谷郷土学習館講演(2)

新入会員さん紹介

○よろしくお願ひします

小林 陽一さん 自己紹介は p19

〒 380-0914 長野市稲葉 799-3

編集後記

第 3 回諏訪湖トリアスロンが 6 月 29 日に開催されました。心配になるのが諏訪湖の水質です。水浴場の水質基準ですが水質 AA,A は「適」、水質 B,C は「可」と評価されています。「適」はかなり基準値が高いのですが「可」の水質 C は、ふん便性大腸菌群数が 1,000 個/100 cc 以下、COD は 8 mg/L 以下、透明度は 50 cm 以上ですので諏訪湖はクリアしています。トリアスロンの世界基準は、大腸菌の濃度が 500cfu/100cc 以下であること等ですがこれも満たしています。トリアスロンが開催されることは諏訪湖の水質が良いことの証でありうれしいことです